

中学校理科「未来へひろがるサイエンス 3」指導書 詳説 別冊マイノート編 訂正表

弊社発刊の教師用指導書に、下記の訂正を行います。謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のように訂正の上、ご使用いただきますようお願い申し上げます。 啓林館中学校理科編集部

ページ	箇所	原文	訂正文
64	観察・実験の確認 [2] [3] (赤文字)	[2] 0.05 J [3] イ 0.25 N	[2] 0.50 J [3] イ 2.5 N
66	観察・実験の確認 [3] [5] (赤文字)	[3] <u>運動エネルギーから電気エネルギー</u> [5] <u>光エネルギーから音エネルギー</u>	[3] <u>電気エネルギーから光エネルギー</u> [5] <u>光エネルギーから電気エネルギー</u>
66	観察・実験の確認 [3] (解説)	[3] <u>手を動かすという仕事は、厳密には体内の細胞呼吸によって生じるATP(アデノシン三リン酸)がもつ化学エネルギーが利用されているが、手回し発電機の動きによって生じているエネルギーは運動エネルギーである。生徒は混乱しやすいので、丁寧に説明したい。化学エネルギー ⇒ (手) ⇒ 運動エネルギー ⇒ (手回し発電機) ⇒ 電気エネルギーとなっている。</u>	[3] <u>手がした手回し発電機の軸を回す仕事により、手回し発電機に取りつけられたコイル内の磁界が変化するため、電磁誘導による誘導電流が発生する。電流が流れると発光ダイオードは発光することから、発光ダイオードでは、電気エネルギーが光エネルギーに変換されている。</u>
教科書の縮刷版		教科書の訂正に合わせて、指導書 p. 64, 66 の縮刷版を訂正	